

教科	工業	科目名	インテリア実習	単位数	4
学科	インテリア科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	インテリアエレメント生産（コロナ社）				
副教材など					

## 1. 科目の目的

「インテリア計画」「インテリア装備」「インテリアエレメント生産」「デザイン技術」「デザイン史」等の科目に関連させ、要求条件にあった、性能の高い、快適なインテリアを創造するための基礎的・基本的な技術を、実際の作業を通して総合的に習得し、ものづくりの能力と技術および、態度を身に着けた実践的な技術者を育成することを目的とします。

## 2. 授業の内容と進め方

2・3年共に3班に別れ、12名～14名のグループで学習します。「木材工芸」「パースペクティブ」「CAD」の3テーマをローテーションで進めます。「木材工芸」は2年次で基礎的な技術で製作できる小物家具を製作し、3年次でオリジナル家具製作へと進み、製作工程に応じた加工技術や、木工機械の操作を学習します。「パースペクティブ」は二年次に1 消点パース・2 消点パースの基礎を学習し、それぞれのインテリアパースを作図して着彩します。3年次は住空間をコーディネートしパースを含むプレゼンテーションボードを仕上げます。「CAD」は2年次にJW-CADソフトによる家具3面図やインテリア平面図・立面図の表現技術を学習し、3年次では自ら設計した住宅のインテリアデザインをプレゼンテーションできる表現技術へと進みます。

## 3. 学習する上での留意点

他の科目との関連を重視して授業を進めます。「木材工芸」における刃物や木工機械の使用については、特に安全教育・環境整備に留意します。

## 4. 課題等について

各工程ごとにレポートを提出します。家具作品、パース作品等の製作において授業時間で不足する分は課題とし、各自の自主学習によって完成させ期日までに提出することとします。その際、実習室の使用を認め、刃物や機械の使用については職員が付いて指導します。

欠席者については、放課後等を利用し欠席した実習項目について補講をします。

## 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	インテリアの表現技法および、作品製作等ものづくりに関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけているかを評価します。
思考・判断・表現	インテリアデザインに関する基礎的な知識をもとに、実際にインテリアデザインを提案し、家具等の作品を製作するにあたって直面する諸問題について、その解決を目指して自ら思考を深め、判断できる力と創意工夫する能力を身につけているかを評価します。
技能	インテリアデザインに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、合理的な手順や工程を計画し、適切な加工や処理を行う技能を身につけたかを評価します。
知識・理解	インテリアデザインに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、人が快適に生活するインテリアの計画・設計を的確に表現し、実現させようとする目的を理解しているかを評価します。

## 6. 評価の方法

評価の観点に基づき、出席状況、レポートおよび、作品の提出状況・完成度および、自己評価を加味して総合的に判断し、評価します。

《指導計画》 科目名 インテリア実習

3 学年

4 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	実習オリエンテーション	① 各実習の目的, 方法などについて, あらかじめ十分理解する。 ② 実習に安全な服装, 整理整頓と危険防止に留意する。 ③ 積極的, 自主的に行動し, 共同作業はお互いによく協力するよう心がけ ④ レポートおよび, 作品の提出は, 期限を厳守する。	行動観察 レポート
	5	第1実習テーマ 「木材工芸」	インテリアエレメント生産で学習したインテリアデザインの基礎知識を基に, 機能性, 安全性, 耐久性, 経済性, 審美性を備えた家具をデザイン・設計し, 合理的な加工工程・塗装工程表の作成法を学び, 安全で適切な加工技術および, 塗装技術を身につけ, 図面どおりの家具を製作する技術を習得する。	行動観察 レポート 自己評価 作品完成度
	6			
7				
二 学 期	9	第2実習テーマ 「パースペクティブ」	インテリア計画, インテリアエレメント生産, インテリア装備等で学習するインテリアデザインの基本的知識を基に, 自ら設定した生活テーマによる要求条件を満たすインテリアデザインを提案し, パースペクティブにより表現する技術を習得する。	行動観察 レポート 自己評価 作品完成度
	10			
	11			
三 学 期	12	第3実習テーマ 「CAD」	インテリア計画・インテリアエレメント生産・インテリア装備等で学習するインテリアデザインの基本的知識を基に, JW-CADソフトを使用し, その特性や操作を学習して, 自ら条件を設定してデザインした「理想の住宅」の設計および, インテリアコーディネート表現技術を習得する。	行動観察 レポート 自己評価 作品完成度
	1			
	2			
3				